

カウンセリング総論

専門教育科目／2単位／S授業

■使用テキスト

*担当教員によるレジュメ等

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

カウンセリング総論では、カウンセリングにおける最も基礎的な知識及びカウンセリング技法それにこれらの技法についての実践力を習得することを目指します。具体的には下記のような内容について学習します。

1. 今日のカウンセリングといわれるものが、どのような経緯を経て、どのように発展してきたのか、その歴史的背景を探りながらカウンセリングとは何か、また何を、目指そうとするのかといったカウンセリングについての基本的な考え方について学習します。
2. カウンセリングは、カウンセラー（相談を受ける専門家）とクライアント（来談者）とが言語的、非言語的（話すときの表情、声のトーン、身振りなど）コミュニケーションを介して、クライアントの抱えている問題解決を目指すものです。したがって、カウンセリング開始にあたって、あるいはまたカウンセリング全般を通して、クライアントが心理的にも、また環境的にも話しやすい場面設定が大事になります。そのために配慮すべき様々な問題について学習します。
3. カウンセリングでは、クライアントの話に対するカウンセラーの応答のあり方が、カウンセリングの展開に大きく影響します。それだけにカウンセリングでは、カウンセラーの応答のあり方が非常に大事になります。したがって、本講義では、カウンセラーが留意すべきもっとも基本的な応答技法について学ぶと共に、ロールプレイなどを用いて、それらの実践力まで習得します。
4. カウンセリングでもう1つ大事なこととして、カウンセラーがクライアントに対して備えるべき態度の問題があります。そういった備えるべき態度の中でも、最も大事なものとされる「受容」と「共感」という問題について考えます。
5. カウンセリングの理論として、もっとも代表的な理論の概要を紹介します。

到達目標

- 1) カウンセリングの基本姿勢、クライアントとカウンセラーの関係について理解する。
- 2) カウンセリングの導入について理解する。
- 3) クライアントが抱く不安を理解し、その緩和への配慮について理解する。
- 4) 基本的なカウンセリング技法の意義と効果について理解する。
- 5) 言語によるコミュニケーションと非言語によるコミュニケーションについて理解する。

評価方法

出席状況（遅刻・欠席は不可）、受講態度、科目単位認定試験（スクーリング最終日に実施）。